

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (小学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

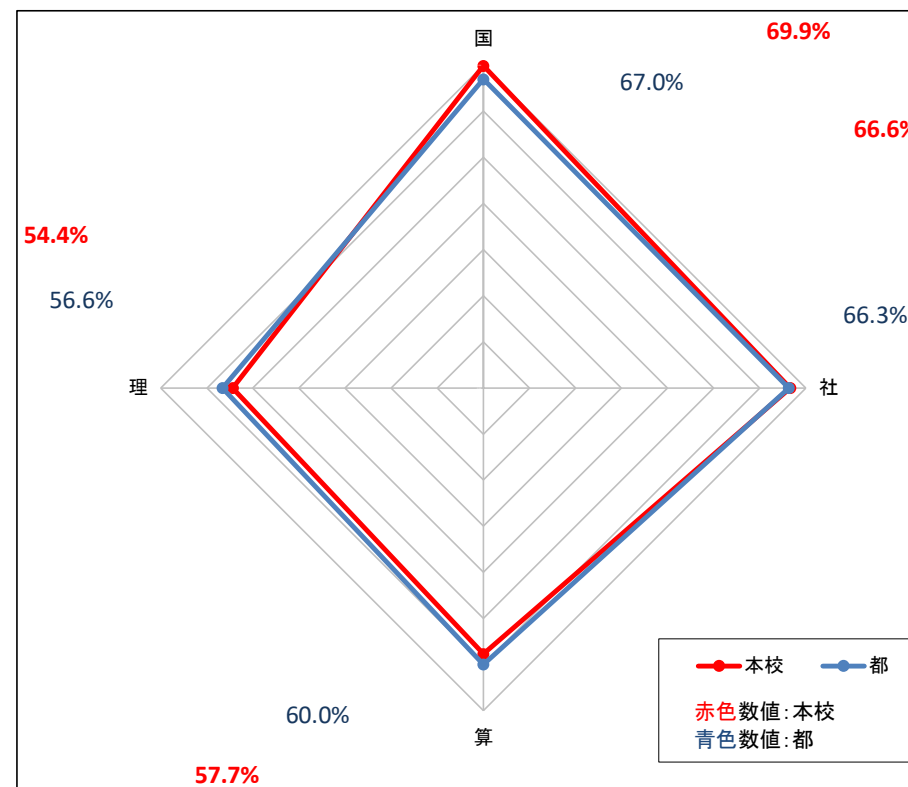
第四葛西小学校

国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	65.9%	70.9%	67.1%	65.9%	67.0%
本校	68.4%	77.9%	69.4%	67.4%	69.9%
都との差	2.5	7.0	2.3	1.5	2.9

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	社会的な事象についての知識・理解	
東京都	63.1%	66.5%	69.8%	66.3%
本校	65.0%	65.8%	70.6%	66.6%
都との差	1.9	-0.7	0.8	0.3

算数	教科の観点			教科の合計
	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	
東京都	46.4%	65.2%	67.8%	60.0%
本校	45.5%	62.9%	63.6%	57.7%
都との差	-0.9	-2.3	-4.2	-2.3

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
東京都	52.9%	66.4%	55.0%	56.6%
本校	51.5%	62.2%	53.2%	54.4%
都との差	-1.4	-4.2	-1.8	-2.2



《都との比較にみる本校の状況》

- ・算数2.3%、理科2.2%と都の平均を下回った。
- ・算数では「数量や図形についての知識・理解」の観点、理科では「観察・実験の技能」が特に全体平均を下回った。
- ・算数・理科については、どの観点の平均正答率も都の平均を下回っている。
- ・国語2.9%、社会0.3%と都平均を上回る事ができた。
- ・国語については、どの観点においても都の平均を上回った。特に「書く能力」の観点においては、都の平均正答率を7%上回った。

《授業改善のポイント》

- 【国語】どの単元の学習においても、言葉の意味を確認したり、学習した言葉を理解し、適切に使えるような学習活動を積み重ねていき、児童の語彙を豊かにしたり、語感や言葉の使い方に関する感覚を高めていく。
- 【社会】我が国の社会的な事象について、児童が学習に興味をもちずんで問題を見つけ解決していけるように、児童の興味をひくような導入をしたり、発問を精選したりすることで、児童が学習課題を解決しやすいようにしていく。
- 【算数】様々な図形の特徴や学習問題に正当した計算の仕方などを丁寧に確認したり、実態に応じて反復学習をしたりすることで、確かな理解に繋げていく。また、習熟度に応じた指導を実施することで、個の学力を高めていく。
- 【理科】学習内容の理解だけではなく、しっかりと丁寧に実験の計画を立てるようにし、安全に正しく見通しをもって実験・観察ができるようにしていく。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・学校だより等で、家庭学習の習慣の形成について理解と協力を求めていく。
- ・学習の基礎・基本が身に付くように宿題を工夫し、学年×10分間の学習時間が確保できるようにしていく。
- ・家庭学習の時間を十分に確保することの大切さを、保護者会で伝える。また、家庭訪問、個人面談等では保護者の方に個々の実態について伝えるようにしていく。